



笛吹市

# 議会だより

平成26年4月23日発行

2014

Vol.38

GIKAI DAYORI



**一宮町塩田地内から  
望む大栃山（御坂町）**

山梨百名山の一つで、黒駒富士とも呼ばれている。

（写真提供：雨宮昭夫様）





笛吹市

# 議会だより 2014 Vol.38

表紙 ..... 1

あんない・議会日誌・会期日程 ..... 2

倉嶋市長・施政方針 ..... 3

3月定例議会で決まったこと ..... 4 ~ 7

会派代表質問(5会派) ..... 8 ~ 14

    笛新会    笛政クラブ    誠和会    公明党    日本共産党

一般質問(7人) ..... 15 ~ 18

    渡邊 清美議員    神澤 敏美議員    大久保俊雄議員  
    亀山 和子議員    中川 秀哉議員    荻野 謙一議員  
    北嶋 恒男議員

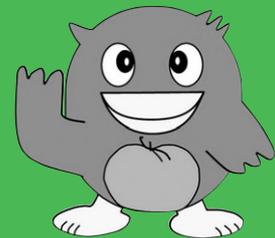
100条委員会報告 ..... 19

視察・研修 ..... 20 ~ 21

委員会レポート ..... 22 ~ 23

市民リレートーク / 議会日程 / 編集コラム笛吹川 ..... 24

## あんない CONTENTS



### 議会日誌 GIKAI diary

#### 12月 December

- 6日 第4回定例会本会議(初日)  
議会改革検討委員会、議会広報編集委員会
- 10日 第4回定例会本会議(一般質問)
- 11日 第4回定例会本会議(一般質問)  
会派代表者会議
- 12日 工事入札調査特別委員会
- 13日 各常任委員会
- 16日 各常任委員会
- 17日 議会改革検討委員会
- 19日 議会運営委員会、全員協議会  
第4回定例会本会議(最終日)
- 24日 釈迦堂遺跡博物館組合議会・全員協議会
- 26日 東八聖苑組合議会・議会改革検討委員会
- 27日 議会広報編集委員会・工事入札調査特別委員会

#### 1月 January

- 5日 市消防団出初式
- 6日 仕事始め式
- 7日・9日 工事入札調査特別委員会準備会
- 10日 議会広報編集委員会
- 12日 市成人式
- 14日 工事入札調査特別委員会
- 20日 議会改革検討委員会
- 21日 甲府・峡東ゴミ処理組合議員研修会
- 22日 教育厚生常任委員会研修会
- 23日 工事入札調査特別委員会
- 27日 議会改革検討委員会・県後期高齢者医療広域連合議会
- 28日 工事入札調査特別委員会準備会・全員協議会
- 30日 市俳句の小径完成式・峡東地域広域水道企業団代表者会議

#### 2月 February

- 6日 市公共施設白書内容説明会・工事入札調査特別委員会
- 13日 県市議会議長会議員合同研修会
- 17日 大雪災害に対する市長協議
- 19日 議会運営委員会・全員協議会
- 21日 工事入札調査特別委員会準備会  
県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・定例会  
東山梨行政事務組合議会全員協議会・定例会
- 23日 大雪災害現地視察
- 24日 工事入札調査特別委員会
- 25日 峡東地域広域水道企業団議会・全員協議会
- 26日 大雪災害現地視察・議会運営委員会・全員協議会  
第1回定例会本会議(初日)
- 27日 東山梨環境衛生組合議会・市町村総合事務組合議会
- 28日 各常任委員会

#### 3月議会・会期日程

- 2月19日(水) ・議会運営委員会  
2月26日(水) ・全員協議会  
開会
- 3月7日(金) ・総括質疑・付託  
提出議案の説明  
市長施政方針  
会期の決定  
会議録署名議員の指名  
本会議
- 3月10日(月) ・代表質問  
一般質問
- 2月28日(金) ~ 3月17日(月) ・各常任委員会  
付託案件・事件審査  
3月20日(木) ・議会運営委員会  
全員協議会  
本会議
- 各委員会の審査報告  
質疑・討論・採決  
閉会



# 倉嶋市長の施政方針

## 記録的な豪雪に対し 農業施設等の被害に最大限の支援

### 26年度施政方針

市政運営の基本は、市民の声を聞き市民参加の市政を進めること。市民生活第一に、市政への市民参加の徹底をさらに推進していきます。

第一次笛吹市総合計画の後期計画を基本に、財政事情の厳しい状況の中でも職員と共に知恵を絞り、能力を最大限発揮できるような効率的な業務運営に努めていきます。

### 施策推進の基本

#### 1 安心して暮らせる元気なまちづくり

市民の生活を第一に、福祉施策を引き続き推進し、市民の相談体制の充実を図ります。

- ・市民生活第一
- ・産業活性化の推進
- ・農業の活性化
- ・観光の活性化

#### 2 住みたくなる桃源郷のまちづくり

安心して健やかに暮らせるまちづくりのため、防災対策にも引き続き力を入れていきます。

- ・防災体制の整備
- ・インフラ整備の推進

- ・環境政策の推進
- ・福祉施策の推進
- ・地域の特性を生かした夢あるまちづくり

#### 3 個性輝く人々が育ち活躍するまちづくり

教育関係や文化財・スポーツ振興など、市民合意のもと環境整備に努めていきます。

- ・学校教育ビジョンの見直し
- ・教育施設の整備
- ・全国高等学校総合体育大会・甲斐国分寺跡の整備に向けた基本構想の策定
- ・釈迦堂遺跡博物館等のあり方検討
- ・スポーツ振興の具体化推進

#### 4 市民の声を聴く市民参加のまちづくり

市役所のあり方や機能、公共施設再配置など、効率的な業務運営に努めていきます。

- ・広聴広報の強化
- ・協働のまちづくり
- ・男女共同参画

- ・市役所組織の検討
- ・公共施設再配置
- ・行財政基盤づくり
- ・市税等徴収率向上

3月定例議会における倉嶋市長の施政方針を要約したものです。



耐震改修工事中の市役所本庁舎  
(現在、内装工事が進んでいる)

新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書

新聞は、日本国内外で起きるさまざまなニュースや情報を正確に伝え、多角的な意見や評論を提供しています。

消費税増税にあたり、複数税率の導入と新聞への軽減税率適用を実現すること。

一般家庭の所得が増える見込みがない中での消費税増税は、家計を圧迫し民主主義を支える基盤である新聞の購読中止を招くことを懸念しています。

よって下記の事項の実現を強く要望します。

以上、地方自治法99条の規定により、意見書を提出します。

平成26年3月6日

衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 財務大臣  
山梨県笛吹市議会  
議長 前島 敏彦

平成26年2月の大雪災害に関する意見書

山梨県内における本年2月14日から15日にかけての降雪は、観測史上最大の豪雪となり、記録的な積雪によって各地に甚大な被害をもたらしました。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年2月26日

内閣総理大臣 総務大臣  
文部科学大臣 法務大臣  
財務大臣 厚生労働大臣  
経済産業大臣 国土交通大臣  
環境大臣 農林水産大臣  
山梨県笛吹市議会  
議長 前島敏彦

被災者がこの深刻な状況を乗り越えるためには、長期的かつ強力な支援の必要があることをご理解いただき、下記の事項について特段のご配慮をお願いいたします。

人事

(年齢は議決日となります)

人権擁護委員の推薦に  
永井氏を承認

ながい きみこ  
永井 公子 (69)

石和町松本  
任期  
平成26年7月1日から3年間。

副市長の選任に  
小林氏を同意

こはやし あゆい  
小林 明 (60)

甲府市中村町  
任期  
平成26年4月1日から4年間。

笹子山・大蔵沢恩賜県有財産保護組合議会議員4名が  
市議会の選挙により当選

うえの たかひろ  
上野 隆弘 (74)

一宮町北野呂  
樋口 公忠 (74)

一宮町上矢作  
こんどう しろう  
近藤 紫郎 (83)

一宮町下矢作  
あめみや こういち  
雨宮 孝一 (72)

一宮町田中  
任期  
平成26年6月3日から4年間。

災害救助法適用に伴い見舞金をいただきました

本年2月14日から15日にかけての記録的な大雪は、本市に甚大な被害をもたらしました。

山梨県内でも、災害救助法の適用が決定される中、全国市議会議長会および関東市議会議長会より、笛吹市議会に対し見舞金をいただきました。

この見舞金は、災害復旧に役立てるため、全額市へ寄附いたしました。

# 平成26年3月定例議会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)  
賛成 反対

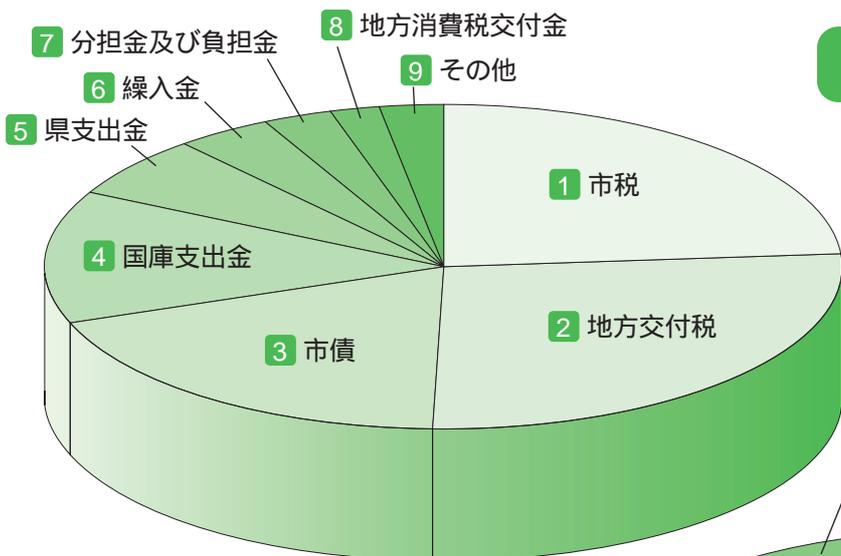
種別	案件名	笛新会					笛政クラブ			誠和会		公明党		日本共産党	結果										
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	小林始		中村正彦	古屋始芳	梶原清	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子		
条例制定改正	・消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定																							可決	
	・消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例																								可決
	・職員給与と条例の一部改正																								可決
	・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正																								可決
	・手数料条例の一部改正																								可決
	・社会教育委員に関する条例の一部改正																								可決
H25補正予算	・簡易水道事業給水条例の一部改正																								可決
	・下水道条例の一部改正																								可決
	・消防手数料条例の一部改正																								可決
	・一般会計補正予算(第4号)																								可決
	・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)																								可決
	・介護保険特別会計補正予算(第4号)																								可決
H26当初予算	・介護サービス特別会計補正予算(第2号)																								可決
	・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)																								可決
	・公共下水道特別会計補正予算(第4号)																								可決
	・簡易水道特別会計補正予算(第3号)																								可決
	・水道事業会計補正予算(第4号)																								可決
	・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算(第4号)																								可決
その他	・一般会計補正予算(第5号)																								可決
	・一般会計補正予算(第6号)																								可決
	・国民健康保険特別会計補正予算(第5号)																								可決
	・介護保険特別会計補正予算(第5号)																								可決
	・一般会計予算																								可決
	・国民健康保険特別会計予算																								可決
人事	・介護保険特別会計予算																								可決
	・介護サービス特別会計予算																								可決
	・後期高齢者医療特別会計予算																								可決
	・公共下水道特別会計予算																								可決
	・農業集落排水特別会計予算																								可決
	・簡易水道特別会計予算																								可決
議案	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区ほか8管理会特別会計予算																								可決
	・水道事業会計予算																								可決
	・市営春日居地区温泉給湯事業会計予算																								可決
	・契約の締結(芦川小学校屋内運動場建設工事)																								可決
	・契約の締結(高機能消防指令センターシステム及び消防救急デジタル無線システム整備工事)																								可決
	・変更契約の締結(本庁舎耐震改修建築本体工事)																								可決
決議	・変更契約の締結(中央線石和温泉駅周辺整備事業に関する施行協定)																								可決
	・新市建設計画の変更																								可決
	・新笛吹市基本計画の変更																								可決
	・市道廃止																								可決
	・市道認定																								可決
	・公の施設に係る指定管理者の指定(芦川小学校屋内運動場建設工事)																								可決
選挙	・公の施設に係る指定管理者の指定(ももの里温泉)																								可決
	・公の施設に係る指定管理者の指定(笛吹市立御坂北保育所)																								可決
	・公の施設に係る指定管理者の指定(八代グリーンファーム)																								可決
	・(八代農産物加工センター)																								可決
	・(石和小林公園・石和温泉駅前公園)																								可決
	・(石和恵比寿公園)																								可決
議案	・(八代健康ふれあい館)																								可決
	・(花鳥児童館)																								可決
	・(御坂林業センター)																								可決
	・(御坂東部地区コミュニティー施設)																								可決
	・(八田御朱印公園)																								可決
	・(八田御朱印公園)																								可決
議案	・人権擁護委員の候補者の推薦																								承認
	・副市長の選任																								同意
議案	・新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の採択を求める請願																								採択
議案	・平成26年2月の大雪災害に関する意見書																								可決
議案	・新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書																								可決
決議	・平成26年2月の雪害により被災された市民の市税並びに各種料金の納付に関する対策を求める決議																								可決
選挙	・笹子山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙																								可決
選挙	・大蔵沢恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙																								可決

# 3月定例議会 26年度一般会計当初予算

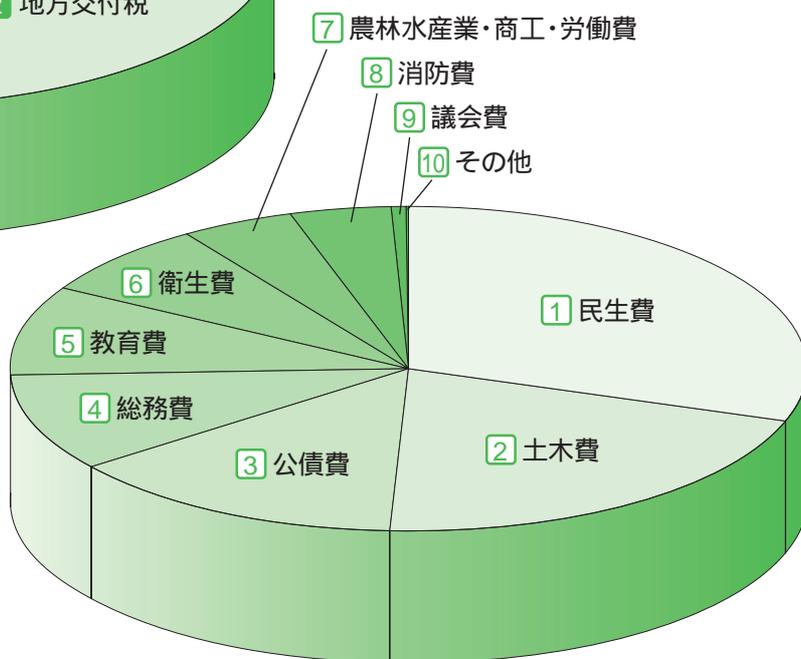
対前年比 12億1,400万円増 5.8%増

# 353億5300万円を可決

## 歳入



## 歳出



歳入

歳出

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比	1人当たり
1 市税	83億6,964万4	23.7%	1 民生費	106億8,387万5	30.2%	15万0
2 地方交付税	94億3,800万0	26.7%	2 土木費	72億4,702万7	20.5%	10万2
3 市債	66億8,800万0	18.9%	3 公債費	49億0,664万3	13.9%	6万9
4 国庫支出金	46億8,270万7	13.2%	4 総務費	34億3,980万2	9.7%	4万8
5 県支出金	21億7,162万6	6.1%	5 教育費	31億3,891万0	8.9%	4万4
6 繰入金	13億7,337万8	3.9%	6 衛生費	25億7,353万7	7.3%	3万6
7 分担金及び負担金	9億8,135万1	2.8%	7 農林水産業・商工・労働費	16億3,979万8	4.6%	2万3
8 地方消費税交付金	7億2,200万0	2.0%	8 消防費	14億5,519万6	4.1%	2万0
9 その他	9億2,629万4	2.6%	9 議会費	2億2,584万9	0.6%	3
			10 その他	4,236万3	0.1%	1
計	353億5,300万0	100.0%	計	353億5,300万0	100.0%	49万6

注) 構成比は端数処理の関係で100%にならない場合があります。 人口：71,337人〔外国人含〕平成26年3月1日現在)

# 3月定例議会 26年度当初予算 特別会計

## 国民健康保険特別会計

注)構成比は端数処理の関係で100%にならない場合があります。(単位:千円)

歳入	国庫支出金	23億0,384万2	26.0%
	国民健康保険税	21億9,616万8	24.8%
	前期高齢者交付金	17億3,636万6	19.6%
	共同事業交付金	10億2,085万7	11.5%
	その他	15億8,326万0	17.9%
合計	88億4,049万3	100.0%	

歳出	保険給付費	58億1,542万7	65.8%
	後期高齢者支援金等	11億6,971万9	13.2%
	共同事業拠出金	10億2,064万0	11.5%
	介護納付金	5億3,977万5	6.1%
	その他	2億9,493万2	3.3%
合計	88億4,049万3	100.0%	

## 介護保険特別会計

歳入	支払基金交付金	15億6,980万2	27.9%
	国庫支出金	13億2,170万7	23.5%
	介護保険料	11億2,170万3	19.9%
	繰入金	8億3,581万0	14.9%
	その他	7億7,451万1	13.8%
合計	56億2,353万3	100.0%	

歳出	保険給付費	53億5,240万9	95.2%
	総務費	1億4,178万2	2.5%
	地域支援事業費	1億2,711万3	2.3%
	その他	222万9	0.0%
	合計	56億2,353万3	100.0%

## 介護サービス特別会計

歳入	サービス収入	1,636万0	97.0%
	繰越金	500万0	3.0%
	諸収入	1	0.0%
	合計	1,686万1	100.0%

歳出	事業費	926万3	54.9%
	総務費	755万8	44.8%
	予備費	4万0	0.2%
	合計	1,686万1	100.0%

## 後期高齢者医療特別会計

歳入	繰入金	8億6,700万6	65.4%
	後期高齢者医療保険料	4億5,769万3	34.5%
	その他	147万6	0.0%
	合計	13億2,617万5	100.0%

歳出	広域連合納付金	13億0,620万9	98.5%
	総務費	1,814万2	1.4%
	その他	182万4	0.2%
	合計	13億2,617万5	100.0%

## 公共下水道特別会計

歳入	繰入金	18億2,137万4	63.2%
	使用料及び手数料	5億6,651万2	19.7%
	市債	3億4,880万0	12.1%
	その他	1億4,600万4	5.1%
	合計	28億8,269万0	100.0%

歳出	公債費	17億7,801万2	61.7%
	下水道事業費	9億1,270万3	31.7%
	総務費	1億8,697万5	6.5%
	予備費	500万0	0.2%
	合計	28億8,269万0	100.0%

## 農業集落排水特別会計

歳入	繰入金	3,900万0	82.7%
	使用料及び手数料	816万8	17.3%
	その他	3	0.0%
	合計	4,717万1	100.0%

歳出	公債費	2,974万0	63.0%
	農業集落排水事業費	1,728万1	36.6%
	総務費	15万0	0.3%
	合計	4,717万1	100.0%

## 簡易水道特別会計

歳入	繰入金	1,089万0	78.3%
	使用料及び手数料	302万4	21.7%
	その他	2	0.0%
	合計	1,391万6	100.0%

歳出	水道費	921万8	66.2%
	公債費	422万6	30.4%
	その他	47万2	3.4%
	合計	1,391万6	100.0%

## 水道事業会計

収益的収入	営業収益	11億6,077万7	68.5%
	営業外収益	5億3,352万8	31.5%
	特別利益	1	0.0%
	合計	16億9,430万6	100.0%

収益的支出	営業費用	14億5,017万5	85.6%
	営業外費用	2億3,119万5	13.6%
	その他	1,293万6	0.8%
	合計	16億9,430万6	100.0%

資本的収入	企業債	10億1,220万0	70.6%
	出資金	2億9,227万7	20.4%
	負担金	1億2,850万0	9.0%
	合計	14億3,297万7	100.0%

資本的支出	建設改良費	14億4,620万0	77.6%
	企業債償還金	4億1,675万1	22.4%
	収入不足額は、損益勘定留保資金、繰越利益剰余金で補てんする。		
	合計	18億6,295万1	100.0%

## 春日居地区温泉給湯事業会計

収益的収入	営業収益	6,950万3	99.8%
	営業外収益	10万4	0.1%
	特別利益	1	0.0%
	合計	6,960万8	100.0%

収益的支出	営業費用	6,559万8	94.2%
	営業外費用	210万0	3.0%
	その他	191万0	2.7%
	合計	6,960万8	100.0%

## 黒駒山外8財産区管理会特別会計

歳入 4,580万0

歳出 4,580万0

笛新会	保坂	利定議員	...8
笛政クラブ	志村	直毅議員	...10
誠和会	中村	正彦議員	...11
公明党	川村	恵子議員	...12
日本共産党	渡辺	正秀議員	...14

3月  
定例議会

市民の声

代表質問

3月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が代表質問に立ち、25項目について市当局の考えをいただきました。

以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。



笛新会

保坂利定 議員

**問** 新年度に向けた施政方針は

**保坂利定議員** 本年10月に合併して10年が経過する。笛吹市の今後の方向性をどう定めるのか、25年度の検証を含め、市政運営の基本姿勢を伺う。

**答** 躍動する文化都市を目指す

**市長** 「開かれた市役所、公平・公正で透明性の高い市政」を基本姿勢とし、5つの施策の柱を掲げてきたが、不十分であったととらえており、その反省に立って改めて市民参加の市政を基本としたい。市の方向性は、合併時の合意である「活力ある交流都市・快適な生活都市・個性輝く自立都市の創造」の基本理念を踏まえ「躍動する文化都市」を将来像としたい。昨年4月、ビジョン

の具体化として「日本一桃源郷」を打ち出した。

**問** 新年度当初予算編成は

**保坂議員** 予算編成の基本の方針は、中長期財政計画の視点に立った歳入予算が計上されているのか。合併特例債の活用状況と今後の計画は。

**答** 一体性確立と均衡ある発展に努める

**市長** 自主財源の確保、特定財源の活用を努め、歳出面では選択と集中を徹底し、必要不可欠な事業に予算を重点配分した。後期基本計画の25施策を推進するため「施策別枠配分方式」を引き続き採用した。

発行可能な合併特例債は387億円と定められている。27年度以降の発行可能残高は115億円。今後は31年度の活用期限までに、ごみ処理場建設、橋梁長寿命化、農業基盤整備、消防防災施設文教施設整備等に活用したい。

**問** 定住人口確保の取り組みは

**保坂議員** 厚生労働省の推計では、山梨県の人口は今後30年間で20万人近く減少する。笛吹市も約15、200人減が予測されている。子育て支援、医療、教育等定住人口を確保するための施策は。

**答** 子育て支援が喫緊の課題

**市長** 子どもすこやか医療費助成金支給事業の対象年齢を中学3年生まで拡大している。「病児・病後児保育事業」で仕事との両立を

**問** 日本一桃源郷宣言の具体的取り組みは

**保坂議員** 4月10日を「笛吹市桃源郷の日」としたが、具体的な内容は。

**答** メイン会場は八代ふるさと公園

**市長** 合併10年を迎える。今年から「笛吹市桃源郷春まつり」として八代ふるさと公園をメイン会場に約1カ月間開催する。桃源郷の日には、八代小学校2年生による風船飛ばしで全国にアピールする。4月12日には尺玉約100発を打ち上げる。

**問** 都市計画税は

**保坂議員** 笛吹市都市計画税の特例措置期間が終了し、27年度から課税がスタートする。4月から消費税が8

▼  
%となり、27年10月には10%に引き上げられる。厳しい経済状況の中で、現時点の市長の考えを伺う。

### 答 再検討が必要

市長 依然として厳しい経済状況が続いている。27年度からの課税開始は再度検討が必要と考えている。

### 問 地域審議会の方向性は

保坂議員 合併特例法で、地域審議会の設置期間は10年間で定められている。新市建設計画も5年間延長された。地域審議会の今後についての方針は。

### 答 早急に検討する

市長 設置期間以降における市政への提言や、地域づくり推進のための組織のあり方を早急に検討したい。

### 問 総合計画、後期基本計画の主要施策は

保坂議員 実り多い産業とまちづくりは。

- 1) 国際交流、都市農村交流事業と組織の育成は。
- 2) 観光情報発信、滞在時間の延長等の具体策は。
- 3) 農業基盤整備事業の現状と今後の計画は。新規就農者支援、農地集積・荒廃農地解消、消費拡大・宣伝、鳥獣害の現状と対策は。
- 環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくりは。
- 1) 防災計画の現状は。防災マップ、自主防災組織、防災備品、リーダー育成は。
- 2) 道路、農道、水路維持に対する各区の要望と実施状況は。インフラの老朽化対策は。
- 3) 保育サービスの現状と課題は。指定管理制度導入の計画は。
- 4) 高齢者在宅生活支援の現状と課題は。介護予防の推進と介護サービスは。
- 個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくりは。
- 1) 学校教育ビジョン見直しの内容は。学校の安全対策は。退職教員等を活用した放課後の補習は。
- 2) 公民館の改修に対する補助制度は。
- 3) スポーツを身近に楽しめる環境づくりは。
- 4) 甲斐国分寺跡整備事業と俳句の里作りは。

- 将来像実現に向けた取り組みは。
- 1) 親しみやすく機能的な市役所づくりは。
  - 2) 本庁舎への一元化が進んでいる。支所機能の充実は。
- ### 答 市民と協働し推進する
- 市長 1) 23年度作成の笛吹市国際化推進指針に沿って組織作りに取り組む。観光農園に続き、農業体験、農家泊等で都市交流を図る。
- 2) インターネットの活用や観光資源を生かした着地型ツアー、意向調査(による観光客の趣向の把握などを実施する)。
  - 3) 県営畑地帯総合整備5地区、中山間地域総合整備2地区、県営基幹農道整備2地区で事業を実施中。他地区の要望は県の農務部と協議し推進したい。
  - ・ 受給者は65人、26年度は制度見直しを予定。

- ・ 遊休農地復元整備補助金と農地流動化奨励補助金制度により、22年度以降、毎年約2ヘクタールの遊休農地が解消。26年度、補助金の一部改正を予定。
- ・ 台湾等東南アジアを重点に、トップセールスを実施したい。
- ・ イノシシの防護柵は103km、シカ用は高上げ等で12kmを設置。御坂、境川、一宮地区は畑総事業で対応。他の地域は材料の無料支給や購入補助を実施する。
- 1) 12月、パブリックコメントを実施、最終調整の段階。
- ・ 防災マップは13行政区で作成済み、または作成中。
- ・ 全行政区で自主防災組織が活動している。
- ・ 行政区が補助金を活用、防災備品を整備している。
- ・ 25年度、県防災リーダー研修会に延べ80人が参加。
- 2) 道路・水路は約300件の要望があり、120件に対応。農道・農業用水路では176件の要望で42件が施工済み。市道橋梁は23年3月策定の長寿命化計画に基づき、9橋について詳細設

- 計及び協議を開始。
- 3) 入所数は横ばいだが、乳児など低年齢児は増加傾向にある。4月、石和に私立保育所が開園する。定員確保職員態勢の整備、施設老朽化対応、地域間バランスの調整などが課題。公立14保育所中、4施設に指定管理制度を導入。26年度から御坂北にも導入。
  - 4) 地域の力を連携させ、要介護になっても在宅が可能な仕組みを確立したい。26年度中に、27年度から3年間の高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定する。
  - 1) 2月には、市役所業務の理解を深める目的で「出前学習会」を開始した。
  - 2) 本庁・支所ともに限られた人員で諸課題に対応する必要がある。支所機能について検討を深める。
- ### 教育長
- 1) いじめ問題や食物アレルギーなどを見直した。
  - ・ 全小中学校に防犯カメラを設置、登下校時の見守りにも努めている。
  - ・ 放課後補習など本市教員OBの活動は、25年度に文

部科学大臣表彰された。  
2) 軽微なものは、行政区運営交付金制度で対応していただいている。来年度から耐震改修の補助制度を実施する。  
(3) 市民参加を得て、検討会

を設置したい。  
(4) 国分寺跡は26年度、土地買い上げの早期再開と整備基本計画の策定に努める。9月に「NHK学園短歌・俳句大会」を開催の予定。俳句の里づくりも進めたい。



### 笛政クラブ

志村直毅議員

### 問 大雪災害への対応は

志村直毅議員 2月14日から15日にかけて、観測史上例を見ない大雪に見舞われた。農業施設の被害は深刻だ。想定を超える大雪への対応情報伝達や除雪は十分だったか。  
農業の被害状況と対応策は、国・県と連携した財政支援策は。

### 答 緊急、長期の両面で支援

市長 想定外の積雪量に、

十分な対応ができたとは言えない。職員配備体制など対策の見直しを図る。  
ビニールハウス約47ヶ所が倒壊。撤去・再建には莫大な費用が必要。緊急対策として2月24日には復旧ボランティアの仕組みを立ち上げた。長期的には、復旧資金支援策を国や県と協議し不安解消に努めたい。

### 問 予算編成と重点施策、財政運営は

志村議員 新年度予算編成の特徴と重点施策・事業は。財政基盤強化の見通しは。歳入・歳出の課題と展望は。

### 答 市の基盤整備に努める

市長 前年度に引き続き、普通建設事業費の構成比が高い。公共施設や学校の安全・防災対策、合併10周年記念事業、子育て支援、予防接種・検診等による医療費抑制策、石和中と芦川小の改築、高校総体や俳句会事業等に重点配分した。  
今後、有利な起債と基金の活用を図り財政基盤を強化する。歳入面では、合併特例期間終了による普通交付税の減額が課題。歳出面では、今後とも行財政改革を一層推進し、経費削減に努めたい。

### 問 持続可能なコミュニティづくりは

志村議員 町内会・自治会への加入促進策は。

新たなコミュニティ施設整備補助事業の内容は。市民や区長と防災情報を共有する方法は。公共施設白書に基づく、公共施設再生の方針と26年度の取り組みは。境川町の温泉施設建設の地区要望に対する考え方は。地域資源の活用は。集落の持続可能性を高める施設の配置と運営は。

### 答 自主性を尊重し支援する

市長 地域トラブルを抑制する意味でも、広報等を通じて加入促進を図りたい。26年度から、耐震改修も補助の対象にする。事業費の2分の1、上限100万円。市民とは、ホームページ、公式ツイッター、フェイスブックを活用し、情報発信・共有を行った。区長との情報共有手段は検討したい。  
適正な施設保有量の検討施設の保有戦略評価、適正配置計画の策定に取り組む。26年度は適正な保有量を検討する。境川町の温泉施設は、地域活性につながる施設運

### 問 産業振興は

菅を行う。行政区単位の集落が形成され、公民館等を拠点とした地域活動が行われている。持続的・主体的な活動を支援していく。

志村議員 通年観光の充実に関する課題は。イベント、事業等の連携や分担は。農業の体力強化の取り組みは。部局を横断した事業の企画・立案は。中小企業、商工業者の支援・育成策は。

### 答 今年、都内で観光市場調査を実施

市長 春の桃源郷と花巡り、夏は鶴飼と花火大会、秋にかけては果物狩りやぶどうエキスポ、冬は石和温泉の効果的な誘客の方向性を検討する推進協議会を設置。観光物産連盟を中心に、各地区の観光協会が独自性を生かし活動し、同時に連携して事業展開していく。  
農家民宿やクラインガルテン実施の際には、部局横



断的対応は必須。体制作り、調整に努める。

商工会と連携を強固にし、今年度、新たな利子補給制度を創設する。

### 問 教育・福祉課題は

志村議員 高校総体への対応は。

学区再編の課題と取り組みの状況、今後の方針は。

産後ケアの取り組みは。県の設置する産後ケアセンターとの連携は。

国民健康保険の財政課題と取り組み状況は。

### 答 全力で取り組み

市長 境川自転車競技場でのトラックレースなど自転車競技が開催される。昨年4月に担当1名を設け、8月からは嘱託職員1人を増員。練習日やロードレースを含め8月4日から9日の大会期間中、医療救護体制、交通規制や駐車場確保には万全を尽くす。

19年の通学区域検討委員会答申は、指定校より近い

学校への通学が合理的と判断される6地区を調整区域とした。20年度、一宮塩田団地は一宮西小学校、御坂町成田地区は石和東小学校を選択できるようにした。学区再編は今後の児童生徒数の動向、適正規模、保護者や地域住民の意見を考慮して対処していく。

妊娠届出時の保健師による面接相談、初妊婦のマルチテイースクール、出産3カ月までの赤ちゃん訪問を実施している。

県が計画しているケアセンターは、育児指導が受けられる滞在型の施設。建設予定地は笛吹市内。立地を生かすことが大事である。

国民健康保険は国民皆保険の最後の砦。健全財政には国税の徴収強化が必要。特定健診・特定保健指導の取り組みを通じ、適切な医療受診を啓発し、市民の健康増進を図り、医療費の削減に努める。



## 誠和会

中村正彦 議員

### 問 合併協定項目の調整は

中村正彦議員 合併時の協定項目は66あるが、現在も未調整の項目の調整・目安と方針は。

消防委員会の設置は。

市民憲章と愛唱歌の制定は。

消防団の将来像は。

金川水利組合、市民農園の調整内容は。

つぶれ地の未登記、把握と解消は。

地籍調査事業の今後は。

学校給食費の現状と今後の方針は。

通学区の見直しは。

教育関連施設の使用料は。

各種団体の統合、補助金・交付金の調整は。

各種団体の統合、補助金・交付金の調整は。

### 答 真摯に取り組み

市長 団員数・規模・施

設等、旧町村の地域間格差解消が進んでいない。設置の判断を控えている。

市民合意の中で取り組みま

れるべきものと考ええる。

合併時の7分団100部隊が、現在は、86部隊に再編されている。今後も実情に応じた統合協議を進める。

格差縮小が課題だ。

水利組合の調整は、平成17年の組合規約で、賃貸価格は一宮が4円40銭、御坂・石和は4円で合意した。市民農園の利用料は、御坂は5千円、八代は3千円のみ

まで市の合併を迎えた。19年10月、「かすがいふれあい農園」が1区画3千円で新設

御坂は25年3月、地主の意向で返還。結果的に3千円の利用料で統一された。

芦川鷲宿第2地区、石和町市部地区の認証事務に取り組み、その後は山林地区の認証に向け、八代町竹居・米倉、境川町大黒坂、御坂町上黒駒・藤野木地区の順で事務を進める。石和町広瀬・四日市場地区は再調査を計画の予定。

給食費の統一のためには、大手業者への食材納入の1本化も必要となる。学校間のばらつきが小さくなるよう努める。

中長期的視点に立ち、小中学校の適正配置について、地域・保護者等の意見を聞き見直しを行いたいと考えている。

地籍調査が終わっていない石和・芦川を除く地区は、20年度から約6、500筆の現地調査に基づき、1筆ごとに未登記台帳整備を進めてきた。全筆調査が終了した今年度は、横断的な庁内検討を行い、具体的かつ最良の解消方法について、協議を進めている。

社会体育施設、学校施設の使用料をスポーツ推進審議会へ諮問し、答申を受け、

## 代表質問

教育委員会で検討し市民に周知したい。社会教育施設も時期を合わせ、統一化に取り組みたい。

多くの団体は合併後、市の組織として一本化し、旧町村ごとに支部を置いて活動している。補助金・交付金の取り扱いに関しては、各団体の設立趣旨などを勘案し、各部署で個々の実情に応じて対応している。

**問** 石和温泉・春日居温泉の活性化策は

**中村議員** 従来の石和温泉のイメージを脱却するため「笛吹温泉郷」と名称を改めることを提案する。駅から旅館・ホテル街までの散策コースを設け、大型バスの駐車場を整備し、観光客の滞在時間を延ばす工夫等も有効ではないか。

**答** 前向きに検討する

**市長** 温泉郷は市の宝であり主要産業。新たなイベントの試みなど振興に努めている。ご提案は関係団体等と協議し、前向きに検討し

たい。

**問** 高校総体の対応は

**中村議員** 26年度の高校総体（インターハイ）が1都3県で開催される。本市でも8月5日から、境川を中心に自転車競技が実施される。8月9日のロードレースの全容は。交通規制など準備の進捗状況は。

**答** 笛吹市を全国発信する機会にしたい

**教育長** 全国から約650人の監督・選手や関係者が訪れると予想される。ロードレースは、一般道を4時間通行止めにして開催する。150台が1周12キロメートルのコースを8周回する。沿道の八代および境川の区長会、影響がある個人宅、事業所等への説明と協力要請をしている。

**問** 八千蔵・高家地区今後の対応は

**中村議員** 八千蔵地域等対策協議会の関連4市には市長交代もあり、この際、笛

吹市長がイニシアチブをとって、事業具体案の提示、早期解決に尽力すべきではないか。

**答** 検討を重ねている

**市長** 本年度、対策協議会の幹事会を4回開催、3市との意見交換を積極的に行い、責任を果たすべく鋭意検討を重ねている。

**問** 大雪の被害と対応は

**中村議員** 農家への支援策は。市対策本部の反省点は。

**答** 雪害対策を講じる

**市長** 目に見える形で着実に支援していく。資金支援策は国・県と協議し、方向性が決まり次第、内容をお知らせし、農家の将来不安解消に努めたい。

2月15日早朝、対策本部を設置したが、当日は登庁困難な状況。16日に対策会議を開いた。豪雪災害は想定外で、職員配備、道路除雪、

帰宅困難者対策、通学路確保、孤立世帯対応などに遅れを応じている。雪害にも迅速に対応できる対策を講じたい。



公明党

川村恵子議員

**問** 健康、福祉施策は

**川村恵子議員** がん検診推進事業として21年度から5年間、無料クーポン券制度が実施されてきた。1本市の無料クーポン券配布数と受診状況は。2今後の取り組みは。328年度、受診率50%達成の見込みは。

移は。2本市の医療費軽減の取り組みと今後の施策は。3レセプト分析活用への考えは。

**答** がん、生活習慣病対策に努める

胃がん予防に効果的な、ピロリ菌の除菌対策は。1ピロリ菌感染検査推進に對する認識は。2特定健診と同時に、ピロリ菌検査の申し込みができるようにしては。「データヘルス計画」の策定と推進は。11人当たりの医療費の推

**市長** (1) 子宮がん検診は対象者が8、636人で受診率27・4%、乳がんは9、720人で32・7%。(2) 子宮がん検診は20歳、乳がんは新たに40歳になる女性にも無料クーポンの個別通知を行う。未受診者への勧奨通知も実施する。(3) 現状の受診率が低く達成は厳しいが、努力したい。(1) ピロリ菌の除菌で、胃



がんの発症がゼロにはならない。胃がん検診率の向上に努める。ピロリ菌感染検査は保険適用が拡大した。受診を勧奨したい。

2) 研究成果や国の動向を注視し判断する。

(1) 23年度、18、940円  
24年度、19、892円。

25年度、前年比5・4%増の20、981円。

2) 生活習慣病の予防、特定健診やがん検診による早期発見・受診の勧奨に努めている。特に、医療費が高額となる腎臓病予防対策に取り組んでいる。今後は、未受診者対策、受診者のフォローアップにも力を入れたい。  
3) 1月19日のフォーラム「慢性腎臓病ってなんだろう」を開催するに当たり、直近のレセプトで高血圧または糖尿病の病名がある国保被保険者に案内の通知をした。多くの参加をいただき好評だった。

## 子どものネット

### 依存対策は

川村議員 市としてインターネット依存の現状把握は、

学校での、スマートフォン・携帯電話に関する教育の現状ルールづくりは。

教職員、市全体が指導内容と実態を共有し対策を講じる体制は。

カウンセリングの体制は。教職員やPTAに対する教育、研修は。

### 学校、家庭と連携し対応

教育長 チャットやメール

ゲームなどに没頭するなど、ネット依存度の高い中高生が全国推計で約51万8千人に上り、健康・学業への悪影響が心配されている。本市も学校と連携し、実態調査を検討したい。

情報教育では、危険性についての学習が欠かせない。情報機器を媒介としたいじめや誹謗・中傷、性被害等の対応を考慮、警察から講師を招いて研修会を行っている。

指導主事が中心となり、各校の担当者を集めた研修や資料提供等を積極的に行いたい。スクールカウンセラーやふえふき教育相談室

の体制を充実させる。

### 子どもの貧困対策推進法は

川村議員 子どもの貧困対策推進法を受けて、市の対応は。

貧困の連鎖を断ち切るための学習支援は。

学習・生活・進路に対する相談体制は。

### 適切な対応、支援を行う

教育長 今後の動向を注

視し、必要な対策を講じたい。貧困家庭だけを対象とした学習支援は行っていないが、放課後や長期休業中の補習教室、退職教職員や学生ボランティアによる土曜学習の広場や学習支援を行っている。就学援助費による支援も実施している。

スクールカウンセラー等による相談体制の充実を図り、教育委員会やふえふき教育相談室、保健福祉部生活援助課、児童課の家庭児童相談室が連携し、保護者の生活上や経済的な相談に応じ

### 生活困窮者

#### 自立支援法は

川村議員 支援法に対する市の見解は。

法による相談窓口の設置に当たり、新たに担当する部署・係を設置する考えは。中間的就労の場を確保する策は。

### 第2のセーフティネット

市長 生活保護に至る前の段階で自立支援策を講ずる。

政省令がこれから示される。包括的な支援体制がとれるよう早急に検討し、準備したい。

就労に必要な知識・能力向上に必要な訓練事業の実施を検討したい。

### 消費税率アップに伴う負担軽減策は

川村議員 4月の消費税率アップに伴う負担軽減として支給される、低所得者向けの臨時福祉給付金や子育て世帯向け臨時特例給付金の、本市の対応は。

### 給付金の円滑な支給に努める

市長 臨時福祉給付金事業は2億7千5百万円、子育て世帯臨時特例給付金事業は1億7百万円を計上した。給付金業務システムを導入し、6月の市県民税の決定後、申請手続きが円滑に行えるよう準備を進める。





日本共産党

渡辺正秀 議員

問 農業振興策は

渡辺正秀議員

J A 笛吹は「営農支援センター」を作り、農協活動の転換、支援策の発展に着手。グリーンファームは農水大臣賞を受賞するなど、地産地消、農業の6次産業化に取り組んでいる。TPP交渉や大企業優遇の農業政策など、地域農業には厳しい現実がある中、行政の役割について認識を伺う。

行政の重要な役割は、農業関係者の連携・交流を後押しすることだ。市の考えと施策を伺う。

補助金支給対象年齢を30歳未満から40歳までに、月3万円を5万円に支援を拡大する考えは。

遊休農地解消、適切な農地利用など本市独自のシス

日本共産党

渡辺正秀 議員

テムを早急に確立すべきだ。バイオマスセンターは中止になったが、EM菌活用を始め、減農薬・有機農業に対する支援は。

農業地域と都市との交流事業促進の計画は。資材、燃料等の価格高騰に対する対策は。

答 新たな可能性を探る

市長 人・農地プランは担い手不足と遊休農地解消等これからの農業の問題点を地域ごとに解決するために設けられた国の施策だ。役員は農業委員、農協職員、

円滑化団体、青年農業者等により構成されており、農業関係者の連携・交流の場となっている。

国の施策として、独立自営を目指す者を対象とした「青年就農給付金制度」がある。国の施策の対象外の農業後継者に対して、市独自の支援制度がある。26年度は制度の5年目であり、当初からの予定通り内容を見直す。県農務事務所、農業委員、J A など農業関係者間で情報を共有し、遊休農地解消と農地の集約化を進める。

バイオマスタウン構想に則り、減農薬、有機農業を推進する。石和町井戸の生ゴミを原料とした堆肥化施設は、堆肥と培養したEM菌液を無料配布している。今後は経費と配布方法に検討を加え支援を図っていく。

市が遊休農地を借り受け、都会の定年退職者に温泉宿を安価に提供、野菜作り等を体験させ就農につなげることを展望する。「笛吹型クラインガルテン」を実施する。国や県の補助事業を活用し、必要に応じ要望する。

問 水道、下水道の耐震化と財政問題は

渡辺議員 東日本大震災で

水道、下水道施設は多大な被害を受けた。石綿セメント管、塩ビ管、普通铸铁管で被害が多く、ポリエチレン管や耐震補強ダグタイル铸铁管、鋼管はほとんど被害が見られなかった。本市も大震災を教訓に対策が求められている。

下水道マンホールの浮き上がり対策は。管接続部の耐震化の必要箇所と対策済み件数は。

下水道、水道の管材の延長距離と耐震化の現状は。水道ビジョン、下水道計画による10年程度の長期事業費と進捗状況は。

排水処理事業、水道事業における建設費削減の決意は。  
1) 下水道計画を見直し、市町村設置型合併処理浄化槽事業を検討する考えは。  
2) 安くて丈夫なポリエチレン管を中心とした建設の検討は。

答 30年度には下水道計画を見直す

市長 282カ所の対策が必要であり、38カ所が対策済み。下水道は、硬質塩化ビニ

ールパイプが367kmで耐震化済みが1.5km、要耐震化が82.9km。コンクリートヒューム管が1.7km、その他の管材が6kmあり、耐震化は済んでいない。水道管はダグタイル铸铁管と铸铁管が22kmのうち耐震化済み17km。ポリエチレン管8kmのうち耐震化済み1km。鋼管6kmのうち要耐震化は4km、硬質塩化ビニール管600kmのうち要耐震化は282km、ステンレス管は全1kmに耐震化が必要。老朽管の更新と送水管の延長等で、現在、98億円を予定している。進捗状況は43%、42億2千万円。下水道計画は経営健全化計画に基づき、26年度から33年度の8年間の事業費は約24億円。25年3月末の進捗率は59.4%、年間約3億円の事業費。  
1) 計画区域外は市町村設置型または個人設置型の合併浄化槽補助事業のいずれかを検討と考えている。  
2) 水道配水管に耐震管であるポリエチレン管を使い、布設・布設替えを行う予定。

3月  
定例議会

市民の声

# 一般質問

3月定例議会では、7人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどしました。  
以下は質問と答弁を要約したものです。



**渡辺清美議員** 局地的豪雨や台風など自然災害が頻発し、消防団の重要性が注目されている。消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立したが、処遇改善と装備拡充が求められる。市の対応は、**荻原総務部長** 地域防災体制の確立、地域の防災活動の担い手確保など、住民が積極的に参加し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るもので、消防団への加入促進、事業者の協力、団員の処遇改善、装備の改善等を規定している。活動実態に応じた適切な報酬・手当の支給について規定され、安全対策、救助、情報通信機器等の装備基準の拡大が消防庁より具体的に示されている。一層の充実強化を図るため、国・県の動きを注視していきたい。



**渡辺清美議員**  
(公明党)

## 問 消防団の処遇改善は

### 答 処遇・装備改善を推進

## 問 防災減災・地域計画の策定は

**渡辺議員** 昨年12月、国土強靭化基本法が成立。地方公共団体に計画策定や施策の責務が明記されている。地域の実情を踏まえ、災害から生命を守る計画策定の考えは。

### 答 強靭化計画や他計画も検討

**斉藤建設部長** 国と適切に役割分担し、地域実情に応じた施策を総合的・計画的に策定し実施するもので、都道府県や市町村の区域における基本的な計画を、地方公共団体が定めることができる規定されている。

大規模自然災害発生時には、人命の保護、救助・救急、医療活動の迅速化、行政機能、情報通信機能の確保、道路・橋梁など交通手段やライフラインの確保と早期復旧、地域社会、経済が迅速に再建・回復できる条件を整備していく必要がある。

国・県の強靭化基本計画や、他の計画と調整し、検討していきたい。

問 農業・温泉・自然活用の観光振興は

答 新観光戦略ビジョン策定準備



神澤敏美議員 ( 笛新会 )

神澤敏美議員 市長公約の基本姿勢に、産業資源の農業・温泉・自然を融合した地域活性化に取り組み、観光戦略ビジョンの策定や、就農しやすい環境づくりをすすめている。国の規制緩和を受け、農業特区導入で市の活性化を図れないか。農業・温泉・自然の観光資源を活用する観光戦略ビジョン策定状況は。就農環境をつくる農業高度化(6次化)戦略会議設置状況は。地産地消推進計画の進捗状況と、継続事業として推進する考えは。農業高度化戦略会議に、全国から有能な人材を公募する考えは。風間産業観光部長 本市は桃・ブドウの一大生産地で、生産量日本一を誇っているが、農業後継者問題が深刻な問題だ。特区制度は国際戦略に重点が置かれ、農業関係に関して

はメリットが少ない。特区制度の状況を見定め研究を重ねていきたい。26年度策定から5年目にあたる観光振興ビジョンは見直し時期にある。施策事業の評価や検証を行い、新たな「観光戦略ビジョン」の策定に向け準備していききたい。

「儲けを増やす農業を目標に、6次産業化の促進は就農人口を増やす上でも大切なので、重要な課題と考え、設置する方向で前向きに検討したい。地産地消計画は22年3月に策定し、市内直売所で地場農産物の販売促進や料理教室の開催、学校給食への使用推進などの取り組みを実施し、市産農産物の消費拡大に努めてきた。計画期間は26年度までの5年間。直売所での農作物販売は工夫により、販売量や収入の増加が目に見えて分かり、果樹以外の作物販売も可能で、遊休農地等で栽培できる作物であれば、高齢でも現役農家として頑張っていける。26年度中に検証し、計画継続に向け準備をしていきたい。外部からの人材確保も含め、幅広く参画できる戦略会議としたい。

問 市の職員再任用制度は

答 知識・経験など有効に活用



大久保俊雄議員 ( 笛政クラブ )

大久保俊雄議員 26年度から60歳定年の職員再雇用が義務付けられた。再任用制度の概要と応募状況は。採用条件と配属先は。制度の位置づけと将来展望は。

職員全体の士気向上の取り組みは。荻原総務部長 再任用職員の知識・経験・能力を有効に活用、効率・効果的な組織や、人員体制の確立に適切に運用する。早期退職予定者26人中23人が該当、7人が再任用希望。短時間勤務を基本に運用。住民窓口系事務・支所地域振興事務・団体事務・福祉系事務等を予定。総人件費抑制、臨時職員とのバランスという観点も必要。定年退職職員の就業機会の確保や、一般職員・再任用職員の士気を保ち、より効率的・効果的な組織運営と雇用コストも踏まえ制度運用に努めたい。

問 石和温泉駅周辺の整備計画は

大久保議員 石和温泉駅舎・南北自由通路・北口広場は来年3月完成を目指し順調に進捗している。NTTグラウンド跡地活用は。都市計画道路の今後の方針は。労働橋の架け替えは。近隣道路の街路灯整備とLED化の具体策は。近津用水小規模水力発電活用策は。

答 将来のまちづくりも考える

斉藤建設部長 非常に有用性が高いエリア、今後の経過を見守りつつ前向きに検討する。3路線の整備が完了。未着手となっている4路線は、周辺交通量等を検証し、見直したい。都市計画道路見直しと併せ検討。各路線の整備された経緯、管理区分等を確認し検討する。水量確保が困難な状況で、水力発電には不向きと考える。

## 問 保育所の完全給食実施、脱脂粉乳を牛乳に

### 答 ニーズを把握し課題への対応を検討



亀山和子議員  
(日本共産党)

見直しはあるか。 26年度の保育料に

26年度保育所入所状況は。

3・4・5歳児だけ脱脂粉乳を飲んで

3・4・5歳児の給食に主食が出

されていない。提供するよう求める

山下保健福祉部長 保護者が負担

する保育料を一部軽減しており、改

定する予定はない。

公立保育所85%、指定管理導入保

育所106%、私立保育所が98%で

全体では95%。

脂肪の取り過ぎを抑え、必要な栄

養素をとることができ。牛乳の活

用についても検討していきたい。

完全給食実施は、調理施設や職員

態勢、保護者の経費負担などの課題

がある。保護者ニーズを把握し実施

の必要性や課題への対応を検討する。

## 問 豪雪に対する市の取り組みは

### 答 財政支援の充実を要請



中川秀哉議員  
(公明党)

中川秀哉議員 2月14日から関東甲

信地方を襲った大雪による影響で、

各地で被害が相次いだ。通行止めの

中央自動車道下り線の談合坂SAで

は、400人以上が一時避難し、15

日に1mを超える積雪を記録した県

内では、店の商品がなくなる事態と

なり、ハウス農家や果樹農家では、

棚やハウスの倒壊で農作物に甚大な

被害が出た。さらに交通網の遮断で

観光客は立往生を余儀なくされた。

市内の被災・被害状況は。

災害対策本部の取り組みは。

除雪作業や避難指示等の緊急災害

放送は。

要支援世帯安否確認、除雪作業は。

観光客や帰宅困難者の対応は。

ハウス農家・果樹農家への対応は。

交通網遮断の食料不足対応は。

国・県への激甚災害指定要請は。

荻原総務部長

果樹ハウス被害面

積が約41ヘクタール、野菜・花卉ハウスなど

をあわせ面積47ヘクタール。観光関係は宿泊

客予約のキャンセルが2、400件

3億円の損失など。

人命救助を最優先し、要援護者の

救済や安否確認、除雪対応、帰宅困

難者への支援、被害状況の収集など。

一日に複数回放送を実施、状況に

応じた緊急放送について研究する。

高齢者の安否確認を最優先し速や

かに対応。除雪は地域の方の協力で、

市の雪害ボランティアセンターを活用

し、除雪作業を円滑に進める。

市役所南館、保健センター、なご

みの湯を避難所に開放し、食事や毛

布の提供も行う。

緊急的な対策と長期的な対策に分

類し、農家の目に見える形で着実に

支援する。災害復旧にかかる経費負

担を軽減するため、資金支援策を国

や県と協議する。

孤立世帯や病院等、市備蓄のアル

ファ米、水等を提供した。

峡東3市が連携し、激甚災害の指

定など財政支援の充実を要請した。

**問** 甲斐国分寺跡整備事業の不適正事務処理は

**答** チェック機能と体制整備に努める



荻野謙一議員  
( 笛新会 )

代表等による調査委員会を設置し、客観的かつ公正な調査を行った。

直接的な原因と責任は、担当職員の補助事業に関する初歩的なミスと軽率な裁量とが重なって生じたもので、担当個人に帰すべき原因に加え、それを生み出し抑止できなかった組織的な原因と責任もあつた。

今後の再発防止策として、職員研修の充実と事務手続きのマニュアル・チェックリスト作成の徹底、人事配置の適正化と人材育成および複数職員による事務処理体制の徹底、管理監督者によるチェック機能とチェック体制の整備等に努めている。

皆さまにお詫び申し上げるとともに、損害賠償に対する問題は調査委員会の意見、調査報告書の内容を尊重し、一定の負担を求める方向で検討していたが、判例や実例に基づき調査報告にあるとおり、補助金返還に伴う加算金3、327万円の4分の1に当たる、約800万円を上限として関係職員に求めていく。

荻野謙一議員 平成20年から23年度にかけて実施した、甲斐国分寺史跡地買い上げにかかる不適正事務処理の実績が、会計検査や24年11月の文化庁調査で不適正と認定された。調査委員会を設置し、6回の委員会が行われ、昨年5月に調査報告がされたが、調査結果は担当職員の補助事業に対する初歩的ミスと、軽率な裁量等が重なり生じたと報告された。大切な税金から補助金と加算金の1億7千万円が国に返還され、市民の多くは大変疑問に感じている。

調査委員会の報告がされてから9カ月が経過、この不透明な責任問題と対策をどう考えているのか、市民が納得できる回答をお願いしたい。

荻原総務部長 今回の不適正事務処理問題の原因を究明し、再発防止の徹底を図るため、外部有識者・市民

**問** 市公共施設の生かし方は

**答** 適正な公共施設保有量を検討



北嶋恒男議員  
( 笛新会 )

北嶋恒男議員 市は公共施設白書を作成した。

再編・統合の判断基準は。白書の公開方法、民間活力活用は。制度活用した学校施設長寿命化改良事業は。

学校への基金活用、市長の決断は。地区公民館など、どう考えるか。

芦澤経営政策部長 施設の用途、利用状況からの検討、地域や利用者の意見などを基に判断基準を検討。

市ホームページで公開。職員の認識の共有を図る学習会や、保有戦略評価の考えや進め方を検討し、地域での協議も計画。

従来の建て替えより工事費用の縮減・工期短縮が可能で、コストを抑え建て替えと同等の教育環境の確保が可能。

保護者や地域住民のご意見を伺い、

計画的な整備を図っていききたい。災害時の地域防災拠点となる重要な施設、施設耐震化に一部助成など当初予算に計上した。

**問** 生ごみ有効利用の取り組みは

北嶋議員 農業課題のとりえ方は。モデル地区の堆肥減量化、予定は。小規模生ごみ処理の地元運営仕組みづくり、人づくりは。

**答** 生ごみの減量も検討する

風間産業観光部長 農家の多くが有機栽培を取り入れ、商品価値のある農作物を生産・出荷している。安全・安心で見栄えが良い農作物の安定供給には、堆肥の安定供給が必須。バイオマスセンター建設事業中止に伴い、市内2地区の生ゴミ分別収集も3月中止する。継続の要望については検討する。

生ごみ収集が省略されるなど、ごみの減量という観点で考え、環境推進課とも検討していく。

# 100条委員会報告(第6回~11回)

## 工事入札に関する調査特別委員会

これまでの「工事入札調査特別委員会(100条委員会)」では、まず「御坂浄水場土木・建築工事入札」に関して、その疑義の解明に取り組んできた。

当該工事入札は、工事費8億円という大規模なものであったが、公告3日後には「公告取り止め」という、極めて異例な事態となった。これがどのような経緯の中で起きたのか、その事実関係の解明を中心に調査を進めてきた。入札関係の書類、積算書等の調査とともに、関係者の証人喚問を行うこととして、1月23日には、当該工事入札に直接的に関わっていた職員8人を証人として喚問し、「公告取り止め」が誰によって提起され、どのように決定されたのかを中心に質問が行われた。

証言からは「公告取り止め」は当時副市長であった久保田克己氏によって提起され、久保田氏の主導のもとで関係職員による協議が持たれ、決定されたとのことであった。

当時、久保田氏は副市長がそ

の長となる「笛吹市入札参加資格審査委員会」の委員長を務めていた。なお、当該委員会は入札に関する決定機関として庁内に設置されている。

2月24日に開催された第9回調査特別委員会では、設計業者の株式会社日本水道設計社を証人として喚問し、今回の「公告取り止め」への関与、とりわけ市側から相談や助言を求められたことがあったかどうかを中心に、事実の確認を行った。設計業者からは「公告から取り止めまでの間にそのような事実はない」と「工事の規模から大手ゼネコン等による施工を念頭にしていた」といった証言が得られた。

当該工事入札の「公告取り止め」が、久保田氏による提起・主導で決定されたことが事実視され、同じ第9回調査特別委員会では久保田氏にも証人として喚問に応じてもらったが、証言では、久保田氏自らが「公告取り止め」を提起し、その決定に導いたことを認めた。

また、そのきっかけになった

のは、前笛吹市議会議員の中村善次氏からの助言だったことも証言され、その内容は「一本の工事としてではなく、土木工事と建築工事とに分割し、地元業者が応札しやすく、地元経済の振興を図ることを考えたかどうか」というものであったとのことだった。

3月27日の第11回調査特別委員会では、前市議の中村氏を証人として喚問し、久保田氏による「中村前市議からの助言」の確認を行った。中村氏は、電話で直接、久保田氏に助言したとして、その内容も概ね「久保田氏の証言の通りである」と答えられた。以上が、第11回までの調査特別委員会のあらましで、これまでの関係者の証言からは、不調後の協議について職員と久保田氏との証言内容に異なる点や、公告掲示板の場所等、中村氏の証言に事実と相違する点もみられたが、「御坂浄水場土木・建築工事入札」調査に関する事実確認ができた。

## 第6回~11回の100条委員会の経緯

### 第6回特別委員会

開催(1月23日)

御坂浄水場土木・建築工事に関する証人喚問

契約担当職員・工事担当職員等8人に対する証人喚問を行う。

### 第9回特別委員会

開催(2月24日)

御坂浄水場土木・建築工事入札に関する証人喚問

設計業者および前副市長に対する証人喚問を行う。

### 第7回特別委員会

開催(2月6日)

御坂浄水場土木・建築工事に関する証人喚問の議決

設計業者・株式会社日本水道設計者に対する証人喚問を議決する。

### 第10回特別委員会

開催(3月4日)

御坂浄水場土木・建築工事入札に関する証人喚問の議決

前笛吹市議会議員・中村善次氏に対する証人喚問を議決する。

### 第8回特別委員会

開催(2月6日)

御坂浄水場土木・建築工事入札に関する証人喚問の議決

前副市長・久保田克己氏に対する証人喚問を議決する。

### 第11回特別委員会

開催(3月27日)

御坂浄水場土木・建築工事入札に関する証人喚問

前笛吹市議会議員・中村善次氏に対する証人喚問を行う。

# 教育厚生常任委員会

## 指定管理者施設(社会体育施設等)現地視察(1月22日)

教育厚生常任委員7名は教育委員会職員  
の同行で、生涯学習課所管施設の若彦路ふ  
れあいスポーツ体育館(H4完成)、御坂体  
育館(S57完成)、いちのみや桃の里スポ  
ーツ公園体育館(H8完成)、石和町にある  
八田御朱印公園の4施設を現地視察しました。

平成25年度から新たに指定管理者となっ  
た(株)アグルの所長から説明を聞き、意見交  
換を行いました。

体育館は3施設ともその時代の建築様式  
と施設内容がはっきりわかり、後にいくほ  
ど内容が充実してきたことがわかりました。

スポーツはただ体を動かせば良いと言う  
時代から、人との交流や生涯学習の場にも  
なっているところでもあります。

指定管理になったことで、従来の利用予  
約よりスムーズにできるよう工夫されてい

ました。また、市内の公式事業であれば地  
元地域優先で、約1年前でも仮予約できる  
ことにはホッとしました。

石和町の八田御朱印公園では、中央部に  
突起のある石の遊び場で小さな子どもがケ  
ガをしないかと、いつも心配しながら遊び  
方を教えるのも管理者の仕事かなと笑顔で  
答えてくれました。

今回視察した全ての施設で植栽木の害虫  
駆除や除草も重要な仕事であり、手のかけ  
方次第で結果の善し悪しが現れることにな  
るので徹底した管理を要請しました。

議会の仕事は現場と書類を繰り返すこと  
によって正しい知識が得られ創造力も出て  
くるものだと思います。議員は現場に出よう！  
議員は現場を知らないと言われないように！

## 山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)

2月13日、県内の市議会議員が一堂に会し、  
山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)  
が昭和町アピオで開催され、本市の議員も  
多数参加しました。当日は市町村アカデミ  
ー客員教授の大塚康男先生を講師にお招きし、  
「市議会議員としての危機管理」と題して  
講演されました。

内容の1つ目として、議員の役割(質疑  
の重要性)に触れ、市民の代表者である市  
議会は、市民の負託に応える行政のチエッ  
ク機関として各予算の審議、議員提案によ  
る条例の策定、知識を得るための質問の重  
要性など、多くの機能がある。2つ目は、  
政務活動費で調査・視察研修を重ね議員と  
しての資質のレベルアップに活用し、「資  
料作成および購入、会議費、調査研修費、  
人件費」などに使用でき、「交際費、政党  
活動および選挙活動費、会議等に伴う飲食  
代以外の飲食代等」には使用できないとの

ことでした。3つ目は、兼業の禁止に触れ、  
議員は自ら営利事業を営むことはできるが、  
公共事業では議員自身が、組織やNPO法人  
の代表、老人会長、自治会長として委託契  
約はできない場合があるなど、従事制限が  
規定されていると講演されました。今回の  
研修を通し、議員各自が公人として市民に  
明確な説明のつく議会活動をすべく任務を  
再認識しました。



議員の役割など研修の様子

# 大雪被害 議員現地視察

去る、2月14日～15日にかけての降雪は、観測史上はじめてという大雪に見舞われ、県内の多くの地域に甚大な被害を与えました。市内でも農業や商工業関係への損害は莫大（100億円前後）で、市の産業・経済に大きな影響があり、今後の対応や将来への経営が心配されています。議会でも3月13日に建設経済常任委員会が中心となり、全員で市内各地の被害状況を視察しました。特に農業用施設（ビニールハウス）は80パーセント以上、47ヘクタールの被害があり、高齢化が進んでいる栽培農家の再建への道は非常に厳しいものがあると感じました。被災された皆さま方に心よりお見舞いを申し上げますとともに、これからの復興に対する支援のあり方や要望を直接お聞きし、議会としてできること、すべきことを約束し、市はもとより地元のJAさらに県、国への働きかけを決意し確認しました。

被害を受けたビニールハウス



## 大雪による死亡者発生事案に係る申し入れ（概要）

本年2月14日から15日にかけての大雪は、観測史上初めての記録的な豪雪となり、市内においても甚大な被害がありました。

今後、災害対策や防災体制に必要な検証が行われていくものと考えておりますが、特に市民の尊い生命が失われたことについては、このような悲しむべきことの再発を防ぐためにも、広域的な関係機関等との協力体制ならびに本市の地域防災体制の改善策など、確かな検証を行う必要があるかと考え、申し入れをいたします。

笛吹市長 倉嶋清次 殿

平成26年3月14日

笛吹市市議会 議長 前島敏彦

## 総務常任委員会研修報告

平成26年3月27日(木)

市連合区長会との意見交換

於:市役所南館3階302・303会議室

3月27日、市内132行政区の連合組織である連合区長会との意見交換を行いました。まず、行政区（いわゆる「町内会・自治会」）における運営上の課題や取り組み事例のほか、転入された新住民の方々への対応や、2月の豪雪時の区や組（近所）での活動状況などもお聞きしました。その後、委員との質疑が活発に行われ、組レベルでの防災会議の開催や、災害を想定した具体的な訓練の事例が紹介され、除雪対策への理解や、地域施設である公民館・集会所等の改修等の支援など、地区区長会からのご要望やご意見などをいただきました。

地域によって区役員の任期やごみの持ち出しルールなどは異なるものの、地域の実情に応じた行政区の運営状況を伺い、議会としても今後の課題や改善策などを、積極的に提案・提言していくよう取り組んでいきます。

# 総務 常任委員会

2月28日、3月3日、11日

14日、17日の5日間、委員会を開催。付託された一般関係予算1件、条例の制定1件、関係条例の整理1件、条例の一部改正4件、一般会計補正予算1件、契約の締結2件、変更契約の締結2件、新市建設計画および新笛吹市基本計画の変更2件指定管理者の指定1件の計15件を審査し、賛成全員12件賛成多数3件でいずれも原案の通り可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

## 総務部所管

**Q** 職員給与と条例の一部改正で、該当する職員数と4月からの対応は。

**A** 該当者は栄養士の5人、2人が福祉職、3人が一般行政職で採用。福祉職の1人が3月で退職し、4月以降に栄養士資格を持つ2人を採用。条例改正で統一化を図り、残る1人の処遇改善も行いたい。

**Q** 市の税・料の中で、今

回の大雪災害を受けて減免等の措置を検討しては。

**A** 課税客体の対象等課題はあるが、可能な対策を検討したい。

## 議会事務局所管

**Q** 八代庁舎の議会機能充実のため、活用方法の検討を求める。

**A** 26年度は最小限の改修・修繕を行う。八代支所費の中に計上し庁舎全体の中で検討する。

## 消防本部所管

**Q** 通信施設管理事務119番用FAXは特殊なものか。

**A** 障がい者専用指令室に設置、一般には使用しない機器である。

**Q** 消防救急無線デジタル化等整備事業の、国の方針と財源構成は。

**A** アナログ方式消防救急無線は、28年6月でデジタル方式に移行。財源は事業費の100%を充当可能な緊急防災減災事業債を活用、25・26年度で7億9、200万円を計上。元利償還金の70%が交付税措置される。

## 経営政策部所管

**Q** 雪害に対する補正、除雪費用の算定は。

**A** 雪害対策補正を庁内で確認作業中。除雪費用は1億円超を見込む。

**Q** 空き家対策では、どんな人に定住してもらおうと考えているか。

**A** 芦川は地域のまちづくり実行委員会で調査予定、空き家バンクは課で準備。定住対象は本市に住んでみたい人と、農業対策として居を構え耕作する方を想定。

## 市民環境部所管

**Q** 住民基本台帳カード交付手数料無料化を、27年12月まで延長する理由は。

**A** 28年1月から個人番号カードを発行、住基カードは27年12月で終了。両方のカード保有はできないため、個人番号カードに移行するよう周知したい。

# 教育 厚生 常任委員会

2月28日、3月3日、11日

14日、17日の5日間、委員会を開催。付託された一般会計予算、条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算8件、指定管理者の指定5件の計16件を審査し、賛成全員でいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

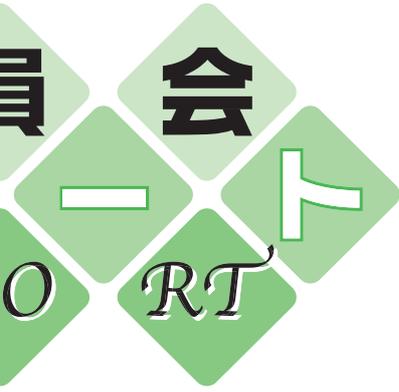
## 保健福祉部所管

**Q** 障害者自立支援給付事業の補装具支給内容は。

**A** 単価が高いものが増え増額補正。主なものは電動車いす3件、座位保持装置3件、補聴器22件、普通車いす7件。

**Q** ふれあいペンダント事業の利用状況は。

**A** 高齢者等280人が利用近隣者や民生委員など協力員2、3人が支援。ペンダントは消防本部につながる



議会機能充実のため改修を行う第2会議室（八代庁舎内）



システムだが誤報も多く、救急体制に支障が出るため24時間対応のコールセンターに発信され、状況確認後消防本部へ救急要請するよう改善する。



ふれあいペンダントがつながる市消防本部

市民環境部所管

Q 住宅用太陽光発電システム設置費減額の要因は。

A 24年度利用者は約434件、25年度は244件。電力会社の買い取り価格は24年度42円、25年度は38円。今年度は住宅の新築設置が大半などが主な原因。

Q 国民健康保険の医療費の状況は。

A 23～25年度の実績は年平均で5%程度の増加。重症患者にならないうちの治療で、医療費の削減と定期健診の実施を進めたい。

教育委員会所管

Q スクールバスを校外学習に利用する場合の基準は。

A 安全第一で原則的に学校教育の内容に即し、県内の事業にお願いしている。

Q 全国高等学校総合体育大会の準備状況は。

A 自転車ロードレース開催の地元対策は順調に進み、昨年からの地元関係者に説明し了解を得ている。関係地区には3～4月に再度説明会を行い、道路占用申請や周知は「広報ふえふき」に掲載する。



2月28日、3月3日、11日、14日、17日の5日間、委員会を開催。付託された一般会計予算1件、特別会計予算3件、保護財産区特別会計9件、水道事業会計1件、温泉給湯事業会計1件、条例の一部改正2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、温泉給湯事業会計補正予算1件、市道廃止1件、市道認定1件、指定管理者の指定5件の計29件を審査し、賛成全員27件、賛成多数2件でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

産業観光部所管

Q 農業施設整備事業・補償費3千万円の減額理由は。

A 地域要望を基に事業計画各支所と優先順位を協議し施工箇所を決定。農業施設

は現場の状況で補償費が変わるため減額となった。

Q 直売所で提供する軽食メニューは、商工会や飲食店との連携は考えているか。集客には施設ごと特色あるメニューが必要だが考えは。

A 商工会との連携や、観光工課と協議を進め、特色あるメニュー開発は地元と協議の予定。

建設部所管

Q 石和温泉駅周辺整備事業・工事請負費5、030万円の増額理由は。

A 公有財産購入費を工事請負費に組み替え、来年度工事費に充てるもの。

Q 砂原橋取付道路整備事業の進捗状況は。

A 八代町増田地区では市長が出席し説明会を開催。石和地区も3月中に説明会を開催し理解を求めたい。

Q 住宅使用料の前年対比マイナスの理由と、収納率向上の取り組みは。

A 収納率は前年度実績基準に算出、結果的に当初予算額は今年度を下回る数値。25年度収納率は現年度分約96%、過年度分は個別交渉



市道認定現場確認

を重ね徐々に回収。高額滞納者は訴訟も起こし回収している。滞納対策をマニュアル化し職員が共通認識を持つて対応。

公営企業部所管

Q 水道事業費用修繕費増額は、年々増える見込みか。

A 経年で漏水が増えれば修繕額も増えていく。

Q 御坂浄配水場建設工事の進捗状況は。

A 浄水場建築工事は3月に完成。土木工事は4月完成予定。機械・電気工事は外構工事も含め8月末の完成を見込む。配水場は本体が3月中に完成し、外構工事は機械・電気工事と合わせ7月の完成予定。送水管整備は26年度中に石和までの送水管工事が完成予定。



## 雪にも負けず



八代町永井（主婦）  
渡邊 恵美

2月の記録的大雪に、ここ笛吹市地域でも交通、流通だけでなく、農業もかつてないほど大きな痛手を受けました。私の友人の何人かも、桃やぶどうのハウスの倒壊という事態に直面しました。骨組が折れ曲がり、ビニールが破れ、雪の中に桃の花がむき出しになっている光景に、本当に胸が痛みました。同時に「自然」の前には、「人間の力」のなんと小さいものかと思ひ知らされました。近年、異常気象にも見舞われ、私たち農業に従事する者も、予測しがたい事が多くなりました。加えて高齢化、後継者不足など問題山積の中、今度の被害、国や県などの関係機関の「総合力」をてこに、危機脱出を祈りたいものです。今回の豪雪では「陸の孤島」などという言葉も耳にし、県外の知人たちにも大変ご心配をおかけしました。その心配に伝えるべく、願わくばこれ以上暴れることのない「やさしい自然」の力をかりて、花の春、実りの夏、収穫の秋を迎えられるよう、農作業に励みたいと思っております。

## 6月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上にて、会期日程・質問内容(表題)を公開しております。参考にご覧ください。

### 平成26年 第2回定例会本会議の日程(予定)

- 6月13日(金) 午後1時30分～ 本会議(初日)行政報告・議案説明・質疑・付託
- 6月17日(火) 午前10時～ 一般質問
- 6月18日(水) 午前10時～ 一般質問
- 6月27日(金) 午後2時30分～ 本会議(最終日)委員会審査報告・質疑・討論・採決

日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。傍聴席へは先着順となります。(傍聴人定員42名)

今年度よりNNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継が見られます。放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。



去る2月14日早朝より降り出した雪は、翌15日正午には、山梨県観測史上例のない豪雪となり、県全土に計り知れない被害をもたらしました。亡くなられた皆さまのご冥福を心からお祈り申し上げ、災害にあわれた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

『向う三軒両隣り』高齢化社会で一番大切な『共助』を改めて知ることになりました。全てを行政任せではなく、自らがボランティア精神を発揮し、少しでも回りの人たちの手助けになればと、そんな循環型社会構築を自然がこの少子高齢化社会に問いかけた大雪ではなかったかと思ひます。私たち議員も行政と一体となって市内の復旧・復興に全力を注ぐ所存です。どうかご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

(神澤敏美)

ITOYO INTERFACE



笛吹市議会だより No.38

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917  
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101  
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

発行者：笛吹市議会議長 前島 敏彦 / 編集：笛吹市議会広報編集委員会  
委員長：荻野 謙一 副委員長：岩沢 正敏  
委員：梶原 清 神宮司正人 古屋 始芳 神澤 敏美